質問書に係る回答書

令和7年1月27日

質問者 様

東 広 島 市 長
(総 務 部 広 報 戦 略 監)
(公 印 省 略)

業務の名称 令和7年度広報紙「広報東広島」企画・編集業務

上記の業務に係る質問について、次のとおり回答します。

番号	質 問	回 答
1	「実施要領」10の(2)の4及び「仕様書」6の(3)の(ウ)について SNSや動画(YouTube、X、Facebook、Instagram等)のアカウントは、東広島市公式アカウントを使用するのか。	市公式アカウント・市公式以外のアカウント、どちらを用いた提案も可能です。
2	SNSや動画を活用する狙い、特にアプローチしたい年齢層、指標、期待される効果は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・狙 い：より多くの人に施策を周知し、関心を持ってもらい、市政への理解促進及び行動変容につなげる。 ・年齢層：若年層を中心とした幅広い層 ・指 標：X・Facebook・Instagram／見られた回数（インプレッションやリーチ数など） 動画／再生回数 ・効 果：より多くの人々が施策を認知し、関心を持つことで、市政への理解や行動変容が促進される。
3	SNS投稿内容や動画を制作する際に、制作費用が業務委託料を超える場合、協議の結果、別予算が充てられる可能性があるか。	可能性はあります。
4	フリーペーパーやコミュニティFM、地域ウェブメディア等を使って広報の特集をPRする提案は、評価や加点の対象となるのか。実施要領に記載の「評価の視点」だけで評価するのか。	実施要領「10候補者選定」に基づき評価を行います。
参考図書等の有無		有 ・ ☐ 無